

在京白聖會報

在京白聖会
2014 総会

おらほの一高、いまむかし
5月10日(土) 東京ガーデンパレスで開催

第46回総会では5月10日(土)、昨年と同様東京ガーデンパレスにて開催いたします。今回の幹事は昭和57年卒が務めさせていただきます。昨年は「集え！猛者達よ」をテーマに300名以上の方々にご参加いただきました。クイズ大会に加えて昭和53年野球県大会決勝戦の再現ビデオの上映、その映像を背景に会場が一体となった応援の再現など、大変な盛り上がりの中、来場の皆様楽しんでいただきました。あの盛り上がりへの思いをしっかりと受け継いで、今年も皆様に楽しんでいただけますよう、幹事一同準備に取り組んでおります。

第46回 在京白聖会総会・懇親会開催概要

日時：5月10日(土)

講演会 15時～／総会・懇親会 16時～
受付開始 14時30分より

場所：東京ガーデンパレス (03-3813-6211)
(文京区湯島 1-7-5) ※昨年の会場と同じです。

参加費：一般 8,000円／学生・院生 1,000円
(但し、社会人・主婦の院生は一般扱い)

※会場では在京白聖会平成26年度年会費(2,000円)を受け付けます。

● Web での在京白聖会総会・懇親会への申し込みは
<http://46th-zaikyohakukai.doorkeeper.jp/events/6787>

講演会とピアノ演奏のご案内

講演：「岩手から世界へ
～いわてスーパーキッズ発掘・育成事業の取組み～」

講師：西郷 晃 (さいこう こう／S57年卒)



盛岡市立下小路中学校副校長
岩手県中学校体育連盟理事長
昭和61年 岩手大学教育学部卒業
盛岡市立上田中学校、葛巻町立江川中学校
盛岡市立下小路中学校等に勤務。
県庁スポーツ健康課にて、いわてスーパーキッズ発掘・育成事業のスタートに携わる。

ピアノ演奏：テーマ「未来への希望(仮題)」

演奏者：菊池 大成 (きくち たいせい)



国立音楽大学付属中・高校ピアノ講師
平成元年 国立音楽大学大学院卒業
昭和61年 国立音楽大学卒業
昭和57年 都立八潮高等学校卒業
昭和54年 盛岡一高入学



〈お詫びと訂正〉
昨年9月発行の会報35号第3画「錦開きの写真説明」の中の「小山卓也先生」は、最高齢参加者の昭和20年卒・佐々木孝二さんの誤りでした。謹んでお詫びし、訂正いたします。

なお、出欠につきましては、同封のハガキにて4月11日(金)までに
ご投函下さい。
また、ウェブサイトからの申し込みも可能です。
(S57年卒幹事団)

スライドショーや、現役学生の皆様による今現在の一高の紹介ビデオの上映を行います。皆様の会話がより盛り上がるきっかけとなれば幸いです。また、前回の企画において応援歌を歌う皆様の顔の輝きを見て、応援歌そのものをテーマに企画しました。歌い終えたときの皆様のす

がすがしいお顔を拝見できるような企画準備をしております。みなさん一緒に歌いましょう。さらに、総会に先立つての講演ですが、今年は二部構成とさせていただきます。



第36号

平成26年3月15日

発行

岩手県立盛岡第一高等学校在京同窓会

在京白聖会
(事務局)

〒162-0835 東京都新宿区
中町1番地11号 桜出版 内
TEL.03-3269-0900
FAX.03-3269-8480
sakuraco@leaf.ocn.ne.jp
(http://www.hakua-sokei.co.jp/)

題字：浅沼 一道

※来年度から新事務局となります。

第一部は記念講演、「いわてスーパーキッズ発掘・育成事業の取り組み」と題して、岩手県中学校体育連盟理事長西郷晃氏(S57年卒)が岩手国体、そして東京オリンピックへ向けての岩手若手スポーツ選手育成のいまをご紹介します。さらに、第二部は、ピアノリストとして活躍中の国立音楽大学附属中・高校講師菊池大成氏によるピアノ演奏をお届けします。そして、懇親会には、ゆっくりお話しいただけるよう着席数を増やす会場配置とし、ロビーにて「いわて銀河プラザ」による岩手名産品販売、在京白聖 Medical clinic による医療相談コーナーも実施させていただきます。

きながら旧交を温め、かつ学年を越えた出会いの場となる会を目指しております。ぜひ同級生・先輩・後輩をお誘い合わせの上、ふるってご参加下さい。多くの方のご来場を心からお待ちしております。



本年の幹事団、昭和57年卒のみなさん(昨年の総会にて)

白聖の同窓の明日

～本部、在京のシームレスな交流を目指して～

昨年10月、白聖同窓会の新会長に谷村邦久さん(s41卒)が就任した。同期の在京白聖会・馬場信会長(S41卒)に、在京白聖会・及川昭伍前会長を加え、白聖の同窓会の「明日への抱負」を語っていただいた。



第13代白聖同窓会会長に就任した谷村邦久さん(S41卒)

司会(白石) 本部と在京で同期の会長が揃った機会に、ともに連携し発展するための抱負を語っていただこうということでこの鼎談を企画しました。忌憚のない意見交換をということで、両会長と同期の私(白石源次郎)が司会を務めさせていただきます。

馬場 これから苦勞も多いと思いますが、まずは会長ご就任おめでとうございます。

谷村 どうもありがとうございます。私は白聖同窓会・安達孝一前会長の下で6年間副会長を務め、昨年10月の総会で会長を拝命しました。

馬場 及川前会長の時代も、八角正司元白聖会会長と昭和25年卒コンビで長い間、白聖の同窓会をリードしていただきました。谷村会長には、私が同期ということもあるのですが、ここ数年、在京白聖会総会にもご出席いただいていますよね。



在京白聖会会長の馬場信さん(S41卒)

谷村 私は在京白聖会の会費も払っているんですよ。だから、私も正式な在京の会員です。

馬場 今は在京だ、盛岡だと言っている時代ではないですからね。ところで昨年暮れ発行の本部の「白聖通信」にも書いておられました、新会長としての抱負をお聞かせ下さい。

谷村 私は白聖同窓会・安達孝一前会長の下で6年間副会長を務め、昨年10月の総会で会長を拝命しました。新会長として掲げた抱負は次の五つです。第一は、白聖の伝統である文武両道の精神を貫くこと。第二は、同窓会が交流する機会を多くすること。

と。第二は、同窓生が母校を訪れる機会を多くすること。第四は、白聖記念館の更なる充実と活用。第五は、7年後の創立140周年記念の準備です。特に、2番目に挙げた同窓生相互の交流は、在京白聖会総会に出席し、活発な活動に刺激を受けて掲げた目標です。

及川 確かに、在京白聖会総会・懇親会は、最近、コンスタントに300名を超える同窓が集まっています。在京白聖会の登録会員は約2800ですから、1割以上の方に参加いただいていることになる。一方、本部はざっくり言うと在京の約10倍弱

の規模ですが、盛岡で開催される白聖同窓会の参加者は百数十名くらい。これはちよつとさびしいですね。

谷村 ほかに、同窓会として集まれる行事はありませんしね。年次ごとの集まりでは、毎月集まっているような活発なところもあるようですが。

馬場 在京白聖会総会は、毎年50歳を迎えた年次が幹事となり、講演や趣向をこらしたイベントなど内容も盛りだくさんです。総会以外にも「白聖芸術祭」が毎年末に開催されるようになります。これは在京白聖会の文化祭のようなものです。その他、各種クラブ活動も活発に行われるようになっていきます。そういった面では、在京白聖会は結束も固く、他の同窓会からも参考にされるような魅力ある同窓会に成長してきたと言えるかもしれません。

司会 及川さんにお伺いしたいのですが、そもそも本部とは別に在京白聖会をつくったのは、どういう経緯からだったのでしょうか。

及川 昭和43年の母校野球部甲子園出場がきっかけです。ベスト8まで行ったこの年、東京からも大勢の同窓生が応援に駆けつけた。その興奮と感激の中で創立大会を開催し、幹事を決めて、翌年から総会を行うようになりました。それまでは、卒業

在京白聖会の活動を刺激に 同窓生が交流を楽しめる会に

平成25年12月16日(月)～21日(土)
会場：文房堂 4階ギャラリー
(神田駿河台下)

2013 白堊芸術祭

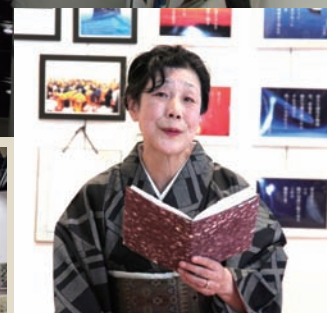
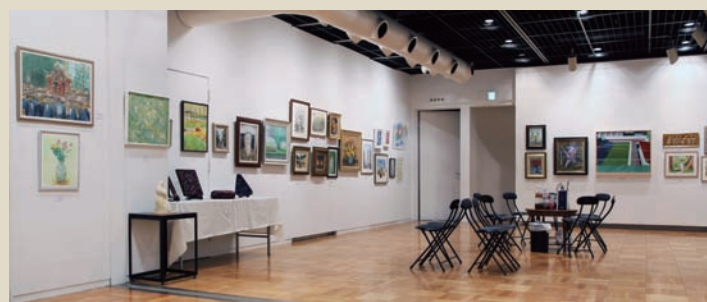
第6回

〈出典リスト〉



落ち着いた広いギャラリーで 多彩な文化の祭典を楽しむ

第6回目を迎えた「白堊芸術祭」は、会場を神田駿河台下の文房堂(ぶんぼうどう)4階ギャラリーに移し、6日間の日程で開催。今回から在京会員以外の同窓にも参加を呼びかけ、出展していただきました。また、朗読やミニライブなども行われ、いちだんと素晴らしい白堊芸術の祭典となりました。今年も、12月に同じ会場で開催いたします。絵画や書などのご出展のほか、ミニライブ、ミニ講習・講演会などもできます。ぜひ、多くの方の参加とご来場をお待ちしています。



12月18日、阿部克行さん(S31卒)のジャンソン・ミニライブ、最終日の21日は野口田鶴子さん(S40卒)の宮沢賢治&五行歌の朗読と、玉澤健児さん(S43卒)のミニコンサートで盛り上がった。



▲伊藤馨一(S52卒)
〈日輪の翼〉



▲三浦千波(S50卒)〈風景〉



▲伊東明子(S50卒)〈ばら〉



▲小山卓也(S32卒)〈三陸リアス海淵〉



▲福田 隆(S49卒)〈玄宮園〉

◀菊池雅子(S44卒)〈Sé(Lisboa)〉



▲佐藤法雄 (佐藤容齋・S 50 卒) 〈白雲一片心〉



▲浅沼榮一 (浅沼一造・S 27 卒) 〈孤月照松心〉



▲武田夏実 (武田素虹・S 53 卒) 〈刻字「花」〉



▲神尾 厚 (S30 卒) 〈マーガレット〉



▲一戸裕子 (S43 卒) 〈びわ〉

三浦千江美 (S53 卒) 〈福寿〉



▼内村 泰 (S39 卒) 〈五大明王佛法曼荼羅〉



▲板倉洋子 (S28 卒) 〈ひと〉



▲坂上洋子 (綾華・S40 卒) 〈蝶戯〉



▲田部井恭子 (S34 卒) 〈エンゼル〉



▲毛利洋子 (S41 卒) 〈抽象への第一歩 (集積のエネルギーその2)〉



▲鍛冶順子 (S61 卒) 〈パリの街角〉



▲戸澤 聡 (S40 卒) 〈黒の記憶〉 (書：三浦千江美)



▲坂本 務 (S44卒) 〈プールの見える風景〉



▲平野恵子 (渡部恵子 S53卒) 〈希望の種〉

▲辻田よね子 (辻やのか・S55卒)
〈ガイコツナカマ〉

▲宮野谷篤 (S53卒) 〈木漏れ日〉

▲工藤結花里 (S54卒)
〈たて琴アザラシ〉

▲吉田昌弘 (S38卒) 〈花瓶〉

▲千葉祐治 (S41卒)
〈飾箱「連鎖」〉▲及川昭伍 (S25卒)
〈三彩七重ノ塔〉

▲伊藤公雄 (S34卒) 〈花〉

▲三浦宏行 (S28卒)
〈のうぜんかずら長方盆〉▲村谷 尚 (S54卒)
〈街角のタイタニック〉▲古座野郁子 (S32卒)
〈馬コの行進〉▲柏木宣郎 (S36卒)
〈三千院：小さき祈り〉

▲橋本時浩 (S53卒) 〈0-2710(秋)〉



▲南館英孝 (S36卒) 〈春の嵐の予感〉



▲小野寺長道 (S28卒) 〈赤いカーテン〉



▲戸田 純 (S48卒) 〈先生〉
※小学生の時の作品



▲戸田忠祐 (S20卒)
〈虚しかりし十五のころ〉



▲佐々木美枝子
(S43卒)
〈西方浄土へ〉



▲村野井徹夫 (S35卒)
〈新雪の不来方城〉



▲小川あさ 〈公園I〉
※ S22卒・小川達雄氏の奥様



▲庄司 純 (S32卒)
〈木更津の秋「空」〉



▲紀 章 (S56卒)
〈Impulse of Blue〉



▲玉澤健児 (S43卒)
〈ギンガメアジの群れ〉



▲渡部英俊 (S53卒) 〈胎動〉

▲八重樫誠司 (S53卒)
〈じんべゝ／家族団らん〉



▲藤原則子 (S51卒) 〈6月に〉



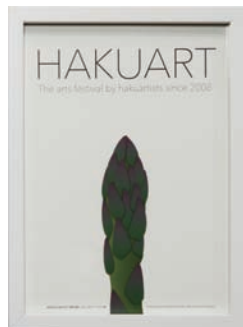
▲及川 謙 (S61卒) 〈日輪〉



▲藤澤 貢 (S61卒)
〈写日記-2013-〉



▲橋本有史 (S33卒) 〈獅子哀歌〉



▲水原 滋 (S50卒)
〈HAKUART 3〉



▲高橋修三 (S51卒)
〈小岩井一本桜〉

坂本美枝子 ▶
(S45卒)
〈光の訪れ〉



「写真五行歌」
展示コーナー



小川達雄(八十若・S22卒)、星邦彦(だいてんち・S36卒)、稲垣裕雄(伊奈裕・S38卒)、馬場信(S41卒)、二宮まゆみ(ろろち・S42卒)、山田武秋(S42卒)、吉田美雅子(S45卒)、村谷 尚(S54卒)、ほか

現役の活躍は同窓の励み 同窓の励みは現役の励みに



在京白聖会前会長(現・顧問)の及川昭伍さん(S25卒)

と同時に卒業生は自動的に白聖同窓会の会員になったのですが、東京で同窓生が集える会はなかったのです。そこで、本部とは別に在京中心の同窓会をということでつくったのが在京白聖会です。

司会 白聖同窓会との関係はどのようにされたのですか。

及川 東京支部ではなく、別組織です。財政も独立で、会費を別にお願ひすることになりました。後に白聖同窓会も会費をお願ひすることになりましたので、在京の会員の方には二つの会費振込用紙が行くことになり一部混乱もみられましたが、今ではご理解いた

だいています。そして在京白聖会は、母校や白聖同窓会との交流や情報交換も大事にしてみました。規約に会の目的として第一に掲げたのが「会員相互の交流と会員の教養の向上を図る」ということでした。今年度も会の発展に合わせ規約を見直すなど、何度か改正しています。この基本線はずっと変えずにきています。

谷村 私が「同窓の交流機会を増やす」という目標を具体的な抱負のトップに挙げたのも同じ考えです。同窓会は会員同士の活発な相互交流が基本にあつて、さまざまな事業もスムーズに行くと思います。会



司会の常任幹事・白石源次郎さん(S41卒)

長を引き継ぐに当たり、安達会長に私の抱負をお話し、意見を伺ひしたところ、安達会長も同じ考えでした。ただ、白聖同窓会は母校とのつながりが深く、それらの課題を優先しなければならぬという事情があり、手がまわらなかつたというのが実情でした。ホームページも白聖同窓会は母校のホームページに組み込まれているだけで、まだ独自のものがなく、なかなか素早く情報を発信し同窓の交流を促すというところまでは手がまわりません。けれども、在京の皆様との連携を深め、目標に向けて一歩ずつ前進していきたいと思っています。

馬場 在京白聖会は現在、総会のほかに「白聖芸術祭」や歌の会、女子の会、ゴルフの会などさまざまなクラブ活動を立ち上げ、いろいろな形で会員がコミットできるようチャネルを増やし活性化してきましたが、これも会報やホームページを開設計し、在京白聖会の活動は会員の手で運営され、手を挙げればだれでも新しいクラブなり同好会を起こせるんだということを地道に発信し続けてきた成果だと思っています。少しずつ環境を整えていくことが大事ですね。

及川 「白聖芸術祭」は私の発案だったのですが、第6回目を迎えた今回から広い会場に移し、これまで無料だった出展料を有料にし、盛岡にも出展者を募りました。これが大盛況でした。狭い場所ではせつかく行っても長居できませんが、広いと落ちついて見られての思いがけない出会いなどもある。あえて「在京白聖芸術祭」としなかつたのですが、この「白聖芸術祭」などは、すぐにでも東京と盛岡で共同開催できます。「白聖記念館の活用」を挙げているけれども、これを白聖記念館でも行うことはできませんか。

谷村 白聖記念館に足を向けていただく良いアイデアがなかなかなくて、今まではせつかくの施設を活用し切れてこなかつたというのが実情です。そういった具体的な案件があれば、検討していきたいと思っています。

馬場 在京白聖会は年次代表で構成する幹事会が充実していて、さらにさまざまな案件についてぎつぱらんに話し合える常任幹事会がある。みんなで情報を共有し、それぞれの得意分野で役割を分担し、それを事務局が統括するというかたちで非常にうまくいっています。役割り分担をして、足腰を強くするということも必要でしょうね。会長が一人でがんばっても、何もできません。



鼎談は在京白聖会・馬場会長の産報出版で実施

及川 在京白聖会は当初、会長制度もなかったからね。集団指導方式というか、白聖の同窓は、こんなことをやりたいと言えば、やってくれる人が必ず現われる。そういうのが白聖の魂、文武両道の精神だよ。

谷村 同窓の活躍は現役の励みになる。現役の活躍は同窓の励みになる。そういう相乗効果を生み出すのが同窓会の役割りだと思います。ネット社会の今は東京と盛岡がシームレスに交流できる時代です。在京の皆様との交流をさらに深め、白聖同窓会の活性化を図って行く決意です。これからも応援をどうぞよろしく願ひいたします。

司会 オスッ！ 皆さん、どうもありがとうございます。

構成・事務局 山田武秋(S42卒)

クラブ活動参加者募集

在京白聖レディス会
6月21日(土) 開催

本年、第10回目を迎える「在京白聖レディス会」は、次の通り開催いたします。

日時…平成26年6月21日(土)
12:30

場所…サンミ高松
会費…¥5,000
ゲスト…未定

詳細は追ってホームページ等でご案内いたします。多くの白聖レディスの参加をお待ちしております。(40年卒 戸来ソウ子)

歌の祭り
8月3日(日) 開催

本年2月9日(日)に開催した「歌の祭り」(歌の新年会)は、第10回目を記念し特別ゲストにプロのオペラ歌手をお招きして開催しました。トップレベルのソプラノ歌手です。

今回は8月3日(日)、渋谷区笹塚1-61-8「BLUE-T」にて開催します(会費5千円)。詳細は歌の祭り幹事代表大内秀之(S35卒)まで。電話045-864-3215またはメール civo4580@rio.odn.ne.jpへお問合せ下さい。

クラブ活動報告

在京白聖会ゴルフクラブ
今年度は疾風会が優勝

昨年10月22日(火)、ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎で開催された在京白聖会ゴルフ大会、年次対抗戦はS42年卒疾風会チーム(石井充、石川修、志岐明、三沢一幸)が優勝(通算4勝)しました。個人の部でも疾風会の石川修さんが優勝(初)。従って、今年度の在京白聖会ゴルフ大会は、疾風会が幹事となります。(開催概要は、次号会報でご案内します)

白聖五行歌会

春鳥は
さ迷い戻るか
外回り
逃げ出したいほど
辛い会社
村谷 尚(S4卒)

草むらから
透き通る
鈴虫の声
亡父の化身か
月命日の夜更け
吉田美雅子(S45卒)

桜の霊の
化身なのか
野晒しの
赤や黄の面の下から
物狂いの幽き気配
山田武秋(S42卒)

ヴァイオリンが奏でる
哀愁を帯びた
美しいタンゴの調べ
郷愁こみあげ
夢がひろがる
伊奈 裕(稲垣裕雄・S38卒)

白聖五行歌会は、毎月1回、秋葉原で歌会を開催しています。また、文学散歩なども実施しています。どなたでも参加できます。お気軽に参加下さい。問い合わせは下記(山田)まで。
電話 03-3269-3420 E-Mail: sakuraco@leaf.ocn.ne.jp

中世城郭探訪
岩槻城見学会を実施

中世城郭探訪は、昨年11月9日



ア・ラ・カルト

●蒲生美津子さん(S35卒)

『兼常清佐の生涯』を刊行

兼常清佐藤は、山口県萩出身。京都帝大でギリシャ哲学を専攻、

→日(土)、戦国時代、荒川(現・元荒川)をおさえる要衝の地として、争奪の的となった岩槻城を見学しました。



●高橋温さん(S35卒)

『金融再編の深層』を刊行

政治の圧力がかかった長銀との合併交渉など、今でも語り継がれる金融再編、金融危機の深層を本人の口から語った本書。読み物としても話題になった『半沢直樹』をしのぐ面白さ。必見の書です。



朝日新聞出版
(2013.6)
1,600円+税



大空社(2013.11)
7,000円+税

→大学院で東洋音楽を研究し、日本初の音楽学博士となった。啄木の一歳年長で、日本と西洋を率直で曇りない視点で見詰め、音楽や言葉、と格闘したことから「音楽格闘家」と評された。本書はこの「愛すべき奇人」の魅力に取り憑かれ、丹念な調査・研究により明らかにした兼常清佐の伝記。著者の熱意も一緒に伝わってきます。

お願い

総会に出席できない方は、同封の振替用紙にて年会費2000円のお振込をお願いいたします。お振込はなるべく、窓口ではなくATMをご利用下さい。

〔編集後記〕白聖同窓会と在京白聖会のトップ鼎談が実現しました。これを機にいつそ交流が深まることを期待しています。(Y)